

こども忍者修行①「忍者の部屋」

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果

◎集団行動規律 課題克服達成感 仲間づくり協調性 自主性創意工夫

(2) ESD の課題解決に必要な7つの能力・態度

⑦進んで参加する態度 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

2 活動の詳細

概要 (セールスポイント)	<p>「忍者の部屋」は、幼児が室内で楽しみながら運動に取り組むプログラムです。</p> <p>それぞれの種目にストーリー性を持たせることで、幼児が「やってみよう」という意欲の向上を大切に、「できた」「できなかった」よりも、プログラムに進んで取り組もうとする姿を大事にしています。</p>						
	実施形態	自主活動（ドラム缶風呂は安全指導あり）		提出書類	食事・教材注文票（ドラム缶風呂、薪用）		
諸条件	必要経費	燃料代（1箱 550円） ※ドラム缶風呂使用の場合		所要時間	3時間程度		
	活動場所	談話室・体育館		対象・人数	幼稚園児（年中・年長） 30人程度		
	事前下見	なし	実施時期	通年（ドラム缶風呂は7月～10月まで、雨天時は実施不可）		天候	全天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	「忍者の部屋」の道具 無線 メジャー ストップウォッチ マイク			<p>【参加者】 運動に適した服装 軍手 水筒 タオル 水着（ドラム缶風呂実施のみ）</p> <p>【団体】 救急用品 携帯電話 薪（ドラム缶風呂使用の場合）</p>			
役割分担	交流の家職員が行うこと			団体引率者が行うこと			
	<p>1) 「忍者の部屋」のセッティング</p> <p>2) 物品の貸出、説明 (ドラム缶風呂は、安全指導)</p> <p>3) 物品の受取</p>			<p>1) 物品の借用、説明を受ける ※ドラム缶風呂は、参加者とともに安全指導を受ける。</p> <p>2) 活動時の安全管理、人員確認、健康・安全把握 ・それぞれの種目は原則ローテーションで行う。 (進め方については要相談) ・活動と活動の間に適宜休憩を入れる。 ・活動後は種目ごとに、簡単なふりかえりを行い、次の種目へつなげる。</p> <p>3) 物品の返却 ※ドラム缶風呂は、火の始末、片付けを行う。</p>			

3 活動のふりかえりのポイント

視点：「楽しく活動することができたか」「安全に活動することができたか」

発問例：「いつもはできない忍者修行をして楽しむことができましたか」「怪我をせず、安全に活動できましたか」

4 SDGsで目指す姿

	<p>4.2 2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達支援、ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。</p>
	<p>・豊かな自然環境について考えることで、それらを守り維持していこうとする態度を育てることが期待できる。</p>

忍者修行一覽

つなとびの術 (ターザンロープ)



片足とびの術



輪くぐりの術・床忍びの術



的とおしの術 (手裏剣)



忍びあるきの術



湯あみの術



「忍者の森」のストーリー

阿蘇青少年交流の家の奥にある森では、わんぱく忍者の修業が行われている。
そこでは、天気が悪い時でも、寒い時でも、修行を休むことはない！
さあ、みんなもわんぱく忍者になってみよう！

つなとびの術 川やへい、敵を飛び越える修行だ。忍者ならみんなできる、
基本の術だ。怖がらずに挑戦してみよう！

輪くぐりの術 宙にうかんだ輪っかをくぐる修行だ。輪っかには毒が仕込まれている。
うっかり触ってしまったら大変だ！慎重に焦らず頑張ろう！

床忍び術 敵の陣地に忍び込むための修行だ。床をはいながら、進んでみよう。
もし、わくにさわってしまったら、敵に存在がばれてしまうかも?!気を付けろ!!

忍び歩きの術 せまい道、でこぼこ道、普通の人が歩きにくいところをバランスをとって、スイスイ歩くための修行じゃ。これができてはじめて一人前の忍者となる。

片足跳びの術 忍者にとって、何よりも大事なバランス力と素早い動きをもにつける！
片足ですばやくゴールまで駆け抜けろ!!!

的とおしの術 忍者の武器といえば「手裏剣」。折り紙の手裏剣を、遠くにある的の穴に
上手に通せるようになろう！

湯あみの術 忍者にとって、体のケアは何より大切。修行で頑張った体をあったかい
お湯でほぐして、次の修行に備えるのじゃ。

さあ、「忍者の部屋」で元気に修行するぞ。

(イ)つなとびの術

「幼児に身に付けたい36の基本的な動き」は「忍者の森」と同じ

1 活動のストーリー

つなを使って川を飛び越えるのじゃ。川に落ちたらワニからお尻をガブツとかじられてしまうぞ。さあ、みんな、勇気を出して飛び越えてみよう！

2 セットアップ

- 体育館内に設置してあるロープが安定しているか確認し、下す。
- 体育館倉庫のマットを2枚敷く。間を空けて、飛び越える川（スタート2m程度）を設定する。



3 注意

- 必要に応じて自分たちの力を試したり、スイングに慣れるために事前に練習する機会を設ける。
- ロープを放してしまって頭や背中を強打してしまうことがある。ロープは最後まで放さない。
- フットループに片足をかけさせる。手は、身長に応じてロープのコブ（結び目）の部分を補助に握らせる。
- 指導者（引率者）は壁側に立ち、着脱、スイングの補助にあたる。
- 完全にスイングが止まるまで、ロープから手を離さない。

4 片付け

- ロープはそのまま2階に上げる。
- マットを体育館倉庫へ片付ける。



(ロ)しのび歩きの術

「幼児に身に付けたい36の基本的な動き」は「忍者の森」と同じ

1 活動のストーリー

せまい道、でこぼこ道、歩きにくいところをバランスを取りながら歩く練習じゃ。塀の上、屋根の上、綱の上、普通の人が進まないところをカッコよく、スイスイと歩くことが一人前の忍者のあかしじゃ。

2 セットアップ

- ジョイントマットをくみたてで敷く。
- 室内用スラックラインをセットする。
- ボードと足台を自由に組み合わせ、「忍び歩きの島」をつくる。



3 注意

- スラックラインは、ラチェットを使って、メインラインが「ピンツ」と張るように調節する。
- 子どもの体重でボードが足台から外れることがあるので、足場とボードの連ける部分はしっかりと組み合わせ、負荷をかけて確認しておく。
- スラックラインの指導者（引率者）は、横に付き添いすぐに手が添えられるようにしておく。
- 1度に1本のスラックラインやボード、足台に乗ることができるのは1人まで。

4 片付け

- 物品に破損がないかチェックする。
- ベルトを本体からはずす。ベルトの反動でケガをすることも予想されるため、片づける際にはベルトに子どもが近づかないようにする。
- ボードと足台を同じパーツごとにまとめる。
- ジョイントマットを分解し、重ねる。



(八)片足跳びの術

- 1 活動のストーリー 「幼児に身に付けたい36の基本的な動き」は「忍者の森」と同じゴールまでの足元の輪っかを、ケンケン跳びで忍者にとって、何よりも大事なバランス力と素早い動きをもにつける！

- 2 幼児に身に付けたい36の基本的な動き

- 3 セットアップ

○輪っかをならべる

- 4 片付け

○それぞれの大きさごとにまとめる。



(二)的とおしの術

- 1 活動のストーリー

忍者があやつる武器の代表「手裏剣」。手裏剣を上手にあやつれるようになれば、一人前の忍者だ！

少し離れた的にあいている穴の中に、手裏剣を通そう。大きい穴から小さい穴へ…。

- 2 幼児に身に付けたい36の基本的な動き

- 3 セットアップ

○フレームを設置し、的をセットする。
○投げる場所を決める。
○手裏剣（折り紙）を準備する。



- 4 片付け

○フレームからの的をはずし、フレームを片付ける。
○手裏剣を片付ける。



※手裏剣は折り紙で作っています。自分で「マイ手裏剣」をつくるのもおすすめです。

(ホ)輪くぐり・床忍びの術

1 活動のストーリー

輪っかやさくを、上手にくぐりったり越えたりしながらゴールを目指すのじゃ。

輪っかやさくにははできるだけ、触らないように気を付けろ！



2 セットアップ

○高さや輪の大小の配置を工夫しながら、ポールや輪っか、コーンを並べる。

3 片付け

○分解し、それぞれのパーツごとにまとめる。



(ヘ)湯あみの術 (ドラム缶風呂)

1 活動のストーリー

しっかり修行した後は、「お湯」に入って汗を流し、修行で頑張った体をあったかいお湯でほくして元気回復！ 次の修行に備えるのじゃ。

2 セットアップ

○準備物

ドラム缶(200リットル) 脚立 ホースやバケツ(水を入れる為) 鉄板
釜戸用耐火ブロック3~5個 まき2束程度 入浴用すのこ

○「ドラム缶」を洗う→「水」をドラム缶の約半分入れる

→ 薪を燃やし、「お湯」を沸かす。

※ときどき湯加減をみることを忘れない。「温かい」と感じてきたら、焚き火を弱める。一旦熱く沸かしすぎると温度調整(お湯を捨てたり、再度水を入れたり)が難しくなる。

3 注意

○ドラム缶の底は高温になっているので、必ず「すのこ」の上に乗って入浴する。ドラム缶の側面は熱くないので、しっかり手で支えながら入浴する。

○焚火の周りでは絶対に走ったり、暴れたりしない。

○入浴時には、お湯がこぼれないように気を付ける。

○幼児がドラム缶風呂に入る時、出る時には大人が補助
→ 入ることによって安全面に留意する。

4 片付け

○灰は水をかけて消火し、灰捨て場に一輪車で運ぶ。

○使った風呂の水は必ず排水をし、ドラム缶の内側を洗浄する。

